

校長室から

校長 武田 幹弘

9月も後半を迎え、ようやく秋の気配を感じるようになりました。前期の日程が終了しましたが生徒の皆さん一人ひとりが、この期間の学校生活で何かしらの成長や変化を実感できたでしょうか。

今の高校生には、従来の知識に加え社会で主体的に生き抜き、貢献できる力が強く求められています。後期を迎えるにあたり特に以下のことを意識して学校生活を送ってほしいと願います。

重要なのは主体性と実行力です。誰かに言われるのではなく、「これをやりたい」という好きなことや夢を見つけ、興味を持ったことに挑戦する精神が、その後のモチベーションとなります。また、前例にとらわれず深く考え抜く力、そして常に学び続ける探究心が、長く社会で活躍するための武器となります。自分の個性や適性を理解し主体的に将来のキャリアを設計する姿勢も不可欠です。

次に、他者と協力する力（協働性）が重要です。多様な人々と関わり、発信力や傾聴力を発揮して成果を出す対人関係能力は、社会人になってからの大きな支えになります。ICT化が進んでも本質的な人間力に基づいたコミュニケーション能力は欠かせません。さらに、地球温暖化や少子高齢化といった社会課題に関心を持ち、将来的に社会貢献を意識できる視点を持つことが求められています。

これらの力はテストの点数だけでなく、学校行事や探究活動のプロセスを含めて、大学や専門学校の入試や就職試験等で評価される時代です。本校での高校生活は、これらの力を育む貴重な準備期間なのです。前期の成果を糧に、目指すべき未来の自分をイメージしながら、実りある価値ある後期を創り上げていきましょう。

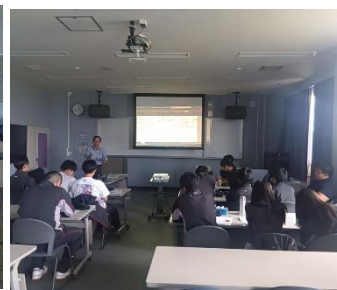
9月のトピックス

アジアGAP（ASIAGAP）公開審査 9月2日(火)

2年生の農業の授業でASIAGAP公開審査を受けました。

アジアGAP（ASIAGAP）とは、食品安全、環境保全、労働安全、人権福祉、農場運営の要素を含むGAP認証制度です。

生徒たちは、アジアGAP審査員からの質問に対して用意した資料の内容をもとに積極的に受け答えをしていました。



食の学校祭 9月13日(土)

札幌さとらんどで行われた「食の学校祭」に畜産分会の3年生1名と、2年生3名が参加してきました。

本校で飼育しているヒツジの毛の有効活用を目的に、さとらんどに会場した限定30名のお客様にヒツジの毛を使ったマスコットキーホルダー作成の体験会を実施しました。

おかげ様で大盛況であり、生徒は楽しそうに参加してくれた子どもたちにキーホルダーの作り方を教えていました。

また他の農業高校も参加しており、交流を深めることができる良い機会となりました。



10月の行事予定

10/3（金）避難訓練(地震)、1日防災学校

10/7（火）海外研修報告会

10/11（土）さんフェア2025「北海道農業高校収穫祭」
inイオン旭川西店

10/17（金）第1回マルシェ

10/23（木）小学との生餅つき交流学習

10/30（木）生産物感謝祭

10/31（金）性教育講座（1. 2年）

